

## 令和4年度 第2回 砂川市小中一貫教育推進委員会 次第

日 時 令和4年9月22日（木）15:30～

場 所 砂川市役所 2階大会議室

### 1. 開 会

### 2. 挨拶 小中一貫教育推進委員会会長

### 3. 報告事項

- ・小中一貫教育に関わる視察について
- ・特別部会の経過報告について

### 4. その他

### 5. 閉 会

## 小中一貫教育に関わる視察について

日 時 令和4年7月21日（木）10：30～

場 所 北広島市立東部小学校

参加者 砂川中学校 校長（砂川市小中一貫教育推進委員会会長）  
中央小学校 教頭（砂川市小中一貫教育推進委員会副会長）  
砂川小学校 校長（砂川市校長会）  
石山中学校 教頭（砂川市教頭会）  
砂川市教育委員会 指導参事  
砂川市教育委員会 学校再編課長  
砂川市教育委員会 学校再編課長補佐  
砂川市教育委員会 学校再編課学校再編係長

視察内容 東部小学校6年生の社会科（歴史）の授業参観  
～北広島市立東部中学校社会科教諭による乗り入れ授業  
北広島市の小中一貫教育の現状等の説明

### 【小中一貫教育の経過】

- ・ 北広島市における小中一貫教育は、平成30年度から一斉にスタートして5年目となり、北広島市の目指すこども像の他に、各中学校区（東、西、大曲、西の里、広葉地区）でも設定している。
- ・ 各中学校区で小中一貫教育運営組織を立ち上げ、小中一貫教育進行管理表の作成や研修会、各専門的な部会で進めている。また、中学校区全教職員による研修会を年2回から5回程度、市内全体での研修会は年4回程度開催し、情報共有を図っている。

### 【9年間を見通した指導】

- ・ 義務教育9年間を見通して一貫した指導を行うため、学習指導の基盤となる教科系統表を作成している。また、全国学力学習状況調査やNRTの結果を反映させるため、各中学校区で重点化を図る教科を系統表に盛り込み、重点的な指導を進めている。
- ・ 家庭学習の強化を図るため、中学校区で統一した家庭学習の手引き（中学校教諭が作成）を配付している。
- ・ 小学校の単元テストから、中学校の広範囲での定期テストを意識させるため、小学校6年生に中学校教諭が作成したテストの体験を実施している。
- ・ 学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新た

な学習や生活への意欲に繋げたり、将来の生き方を考えたりする活動を行う際に、児童生徒が活動を記録し蓄積する教材として小学校4年生から中学校3年生までを対象として北広島市版キャリアパスポート「きたひろ夢ノート」を作成し配付している。

- ・ 学習や生活習慣の規律の定着を図るため、各中学校区でスタンダード化している。

### 【乗り入れ授業】

- ・ 中学校教諭による小学校への乗り入れ授業としては、学校力向上加配や学園制加配の活用により通年行っており、東部中学校区では東部小学校6年生の社会科、5年生の家庭科、北の台小学校6年生の社会科での乗り入れ授業を実施している。
- ・ 小学校教諭による中学校への乗り入れ授業としては、中学校2年生の数学授業（少人数グループによる小学校の学び直し）や、中学校のスキー授業に、スキーに関する資格を持っている小学校教諭が乗り入れ、授業を実施している。

### 【成果と課題】

- ・ 小中学校教員間の文化の違いによる相違については、令和3年度の北広島市で開催した小中一貫教育全国サミットを機に教員間の協同意識が前向きとなり、開催後には意識の向上が見られた。
- ・ 児童・生徒を対象に「〇〇中学校区小中一貫教育アンケート」を行った結果を平成29年度と令和3年度を比較した場合、「学校が楽しい」、「自己肯定感が高まった」、「社会貢献の意識が高まった」、「規範意識が高まった」など、児童生徒の意識が高まっている。
- ・ 児童生徒の成長が目に見えてわかるため、先生たちの意識も変わってきている。
- ・ 中学校での英語・漢字検定に小学校も参加させており、受付などの案内等の補助として学校運営協議会の活動の1つとしており、学校、家庭、地域との協働が図られている。
- ・ 中学校教諭の小学校への乗り入れ授業により、児童との距離が縮まり、中1ギャップの解消に繋がっている。
- ・ 小学校教諭の中学校への乗り入れ授業により、つまづいた内容など児童の状況が把握出来ることで中学校での授業に生かし、9年間を見通した指導に繋がっている。
- ・ 今後の課題としては、学校力向上加配や学園制加配により乗り入れ授業を進めているが、人的手当がない場合は教職員の業務負担が大きく厳しい状況となる。

## 特別部会の経過報告について

令和4年度第1回砂川市小中一貫教育推進委員会において、小中一貫教育を推進するための具体的な検討や事業を企画・運営する特別部会を設置することとし、教頭を部会長とした市内小・中学校の教員で構成された「小学校教育課程部会」「小小連携事業部会」「小中連携事業部会」で協議を進めています。

### ■小学校教育課程部会（令和4年8月19日 第1回 開催）

《具体的な取組内容》

小学校における学習規律や授業スタイル、タブレット端末の有効活用などについて協議を行い、「砂川スタイル」を確立する。

#### ◎第1回 協議事項

○事業推進日程について

- ・砂川市義務教育学校開校までの学習スタンダードのスケジュール ～資料1
- ・令和4年度における協議内容スケジュール ～資料2

○各校における学習規律や授業の進め方（授業スタイル）などについて

- ・各校での授業スタイルを確認

### ■小小連携事業部会（令和4年7月19日 第1回 開催）

（令和4年8月29日 第2回 開催）

《具体的な取組内容》

小小連携事業の在り方などについて、事業の具体的な内容や日程などについて協議を進める。

#### ◎第1回 協議事項

○事業推進日程について

- ・砂川市義務教育学校開校までの事業スケジュール ～資料3

○令和4年度の実施要項（案）について

- ・令和4年度砂川市小小連携事業【5校交流会】実施要項（案）

#### ◎第2回 協議事項

○令和4年度実施要項及び細案の検討について

- ・令和4年度砂川市小小連携事業【5校交流会】実施要項の確認 ～資料4
- ・小小連携の内容について（案） ～資料5

### ■小中連携事業部会（令和4年8月29日 第1回 開催）

《具体的な取組内容》

中学校教員の乗り入れ授業の実施など、小中連携事業の具体的な内容などについて協議を行う。

#### ◎第1回 協議事項

○今年度の具体的な取組内容について

- ・家庭学習強化週間 ～資料6
- ・中学校教員の乗り入れ授業 ～資料6

## ■特別部会 委員名簿

R4.7.1現在  
◎=部会長 ○=アドバイザー

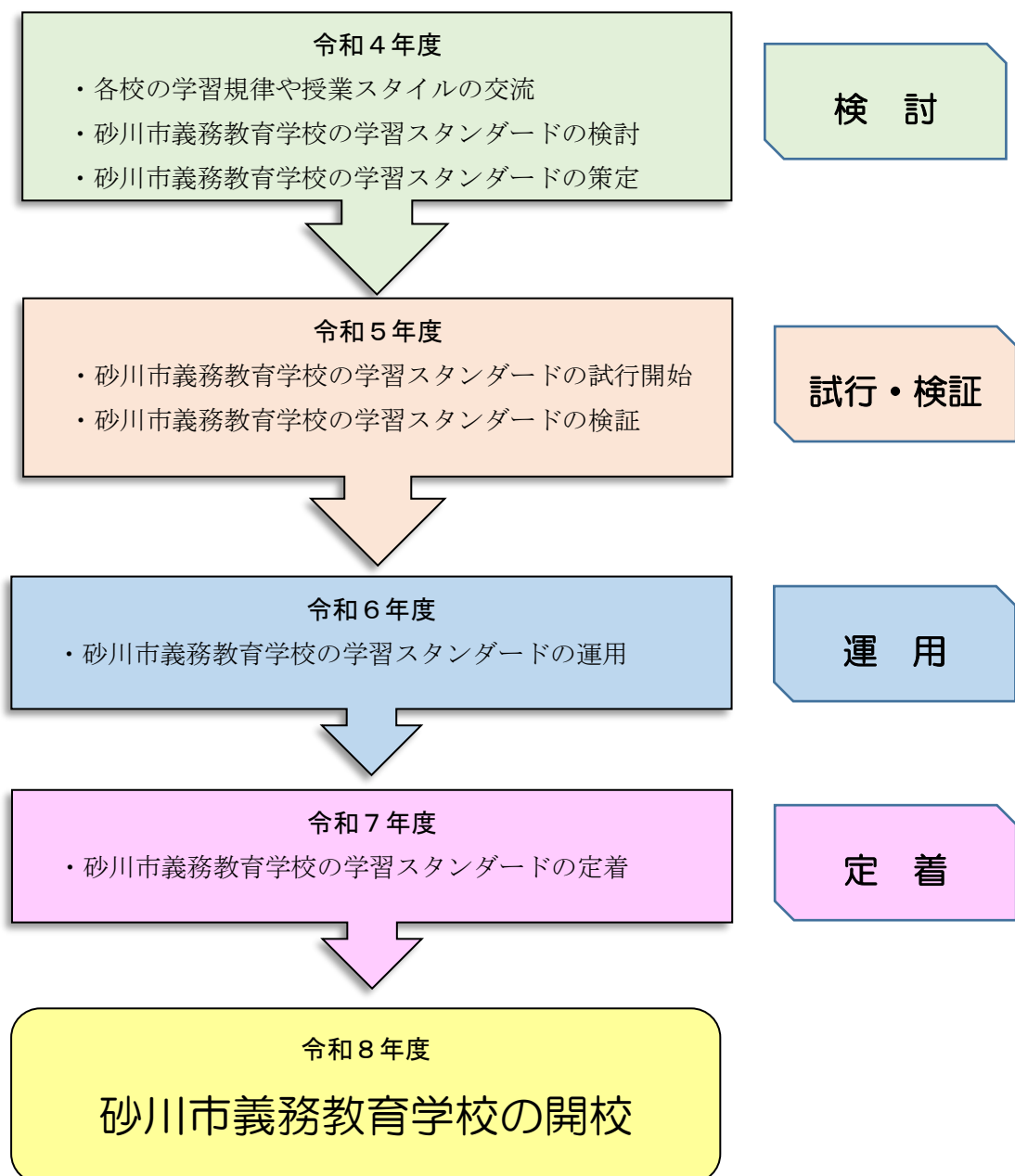
特別部会名	学校名	代表者	
		職名	氏名
小学校教育課程部会	◎ 中央小学校	教頭	長崎卓也
	砂川小学校	教諭	田部井秀和
	豊沼小学校	教諭	金子直樹
	中央小学校	教諭	高橋美歩
	空知太小学校	教諭	小山美保
	北光小学校	教諭	高坂毅
小小連携事業部会	◎ 北光小学校	教頭	長尾孝明
	○ 中央小学校	教頭	長崎卓也
	砂川小学校	教諭	町井克
	〃	教諭	大野紘
	豊沼小学校	教諭	後藤美保
	〃	教諭	小林さおり
	中央小学校	教諭	西川潤
	〃	教諭	荒木洋一
	〃	教諭	坂口圭汰
	空知太小学校	教諭	釣本浩一
	〃	教諭	竹内智恵子
	〃	教諭	三浦学
	北光小学校	教諭	中橋智幸
	〃	教諭	坂下敏之
〃	教諭	佐々木知成	
小中連携事業部会	◎ 空知太小学校	教頭	友利真一
	◎ 砂川中学校	教頭	森下浩司
	砂川中学校	主幹教諭	鍋城佳孝
	砂川小学校	教諭	鈴木真由美
	豊沼小学校	教諭	清水裕一
	中央小学校	教諭	白木ゆかり
	空知太小学校	教諭	丹那里織
	北光小学校	教諭	坂田一幸
石山中学校	教諭	土山浩司	

## 砂川市における義務教育学校 授業スタンダード策定に関わる推進日程

## (1) 授業スタンダード設定の趣旨

砂川市の子供たちに、学習指導要領で示されている3つの資質・能力「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」を確実に身に付けさせ、義務教育学校の目指す児童生徒像に迫るため、日常の授業の中で授業スタンダードを意識した授業づくりが必要となる。

## (2) 推進日程



## 小中一貫教育推進委員会

## 【小学校教育課程部会】令和4年度推進日程

日 付	内 容	場 所
令和4年 8月 8日(月)	事務局事前打合せ	中央小 校長室 10時～
8月19日(金)	第1回部会 ・小中一貫教育全体構造 ・事業推進日程 ・学習規律や授業スタイル の交流	中央小 2階児童会室 15時30分～
～9月中旬	授業スタンダード策定に 関わる推進日程周知	各学校
11月上旬	第2回部会 ・授業スタンダードの提案、 検討	中央小 1階図工室 15時30分～
～12月	授業スタンダード提案、検討	各学校
令和5年 1月	第3回部会 ・授業スタンダード決定 ・来年度に向けて	中央小 1階図工室 15時30分～

令和4年7月19日（火）  
砂川市小中一貫教育推進委員会  
第1回小小連携事業部会

### 令和4年度における事業推進日程について

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		中 学 校 統 合		
6年	レクレーション レクレーション  合同授業3h	レクレーション 遠足  合同授業3h	レクレーション 遠足  合同授業3h	レクレーション 遠足  合同授業3h
5年	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     中学校教員による乗入れ授業を想定                      ・3クラスの編成であることから、3教科の授業を1hずつ行う。                      ・1hは、小学校教員による学活を行う。                 </div>	レクレーション 遠足  合同授業2h	レクレーション 遠足  合同授業2h	レクレーション 遠足  合同授業3h
4年		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     遠足による交流を行うことから、総体でのレクを5・6年それぞれ1回ずつに変更。                      ・砂中もしくは総体に集合して出発                      ・当該学年で対応                      ・5年生は、次年度の乗り入れ授業に向けて経験をしておく。                 </div>	遠足  合同授業2h	遠足  合同授業3h
3年			遠足  合同授業2h	遠足  合同授業3h
2年				遠足  合同授業3h
1年			遠足  合同授業3h	
<p>■令和7年度には、全学年で合同授業を行う必要があると考える。その場合、2ndステージへの進学となる4～6年生は、専科教員による授業を想定するべきである。</p> <p>■令和6年度については、令和7年度に向けての「顔合わせ」の役割が強くなることから、合同授業のうち、1hは学活（自己紹介や簡単なレク）とする。</p> <p>■遠足を通して、顔を覚えたり、楽しく活動したりした経験をもとに、期待感をもたせ合同授業につなげていく。</p> <p>■遠足については、雨天時のことも検討が必要。雨天時は総体でレクを行う。「雨が降ったら使う」といった予約が可能か。飲食は可能か。</p> <p>■令和6・7年度の遠足については、「雨が降ったら総体」とするなら、少なくとも「ブロックごとの実施」とするなど、日程をずらす必要がある。</p> <p>■総合体育館の休館日は、小小連携事業であっても使用できないのか。</p>				

- ① 統合に向け、人間関係づくりが大事なことと思い、レクレーションや遠足など体を動かす取り組みを行った方がいいと考えた。（総合体育館の休館日は火曜日 予約は使用する期日の6ヶ月前だが、学校関係であれば今年度3月末に連絡を入れれば仮予約が可能）
- ② 遠足は、他市町で5校の小学校統合に向け、5校合同の遠足を行っていたことから、砂川でも可能ではないかと考えた。（他市町では、バスで1校に集まり、学年ごとにそれぞれの目的地まで遠足。目的地で解散し、それぞれがバスで帰校する）

※ 合同給食や合同社会見学  
 ※ 高学年による統合した中学校授業見学（入学説明会以外に）



## 令和4年度砂川市小小連携事業【5校交流会】実施要項

## 1. 目的

- 統合中学校への進学に際し、事前に市内小学校6年生児童の交流を持つことで、児童の不安を解消する。
- 令和8年4月の義務教育学校開校に向けて、段階的に交流学年を広げ、児童の人間関係づくりを円滑に進めていく。

## 2. 日時

第1回 令和4年10月21日(金) 13:20~14:50

第2回 令和5年 2月17日(金) 13:20~14:50

## 3. 会場

砂川市総合体育館 ～ 仮押さえ済み

## 4. 小小連携事業部会

## (1) 委員名簿

部会長 長尾孝明【北光小 教頭】

アドバイザー 長崎卓也【中央小 教頭】

砂川小	豊沼小	中央小	空知太小	北光小
○町井 克 大野 紘	後藤 美保 ○小林さおり	○西川 潤 坂口 圭汰 荒木 洋一	○釣本 浩一 竹内智恵子 三浦 学	○中橋 智幸 坂下 敏之 佐々木知成

○は学校連絡係

## (2) 内訳【児童、引率】

		砂川小	豊沼小	中央小	空知太小	北光小	合計
通 常	男子	18	5	10	9	5	47
	女子	21	8	13	6	5	53
特 支	男子	0	2	1	2	1	6
	女子	1	0	0	0	0	1
児童合計		40	15	24	17	11	107
引率		2	3	2	3	2	

## 5. 交流内容(例)

(1) 小グループ内での自己紹介(今年度)

(2) 体育的レクリエーション(今年度)

(3) 行事等の合同実施～遠足、スキー学習など(来年度以降、段階的に)

## 6. 移動方法および予算

## (1) 移動方法

- ①教育委員会借り上げによるバスでの移動
- ②砂小1台、豊小・中央小1台、空小・北光小1台（豊小と中央、空小と北光でそれぞれ乗合せ）
- ③3台借り上げ、往復2回分

## (2) 予算

435,600円の予算計上済み ～ バス代のみ

## 7. 推進計画

日付	内 容	場 所
7月 8日（金）	小中一貫教育推進委員会事務局事前打合せ	北光小図書室 13:00～
7月19日（火）	第1回小小連携事業部会 ・実施要項（案）検討、実施要項決定	北光小図書室 15:30～
8月29日（月）	第2回小小連携事業部会 ・事業細案検討	北光小図書室 15:30～
9月29日（木）	第3回小小連携事業部会 ・第1回交流会に向けて、最終確認	中央小図工室 15:30～
<u>交流会までの間に、メール等での確認を行う。必要に応じて部会を開催する。</u>		
10月21日（金）	<b>第1回 5校交流会</b>	総合体育館 13:20～14:50
11月 上旬	第4回小小連携事業部会 ・第1回交流会反省 ・第2回交流会に向けて	中央小図工室 15:30～
12月 上旬	第5回小小連携事業部会 ・第2回交流会事業案提案・検討	中央小図工室 15:30～
1月 下旬	第6回小小連携事業部会 ・第2回交流会事業細案提示、最終確認	中央小図工室 15:30～
<u>交流会までの間に、メール等での確認を行う。必要に応じて部会を開催する。</u>		
2月17日（金）	<b>第2回 5校交流会</b>	総合体育館 13:20～14:50
3月 2日（木）	第7回小小連携事業部会 ・第2回交流会の反省 ・令和4年度のまとめ、5年度に向けて	北光小図書室 15:30～

## 8. 今後の（5校交流会）担当校

年度	令和4年度 (今年度)	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終年度)
担当	中央小	空知太小	豊沼小	砂川小

※北光小は、複式を考慮する。

## 9. その他

- ◆ コロナ感染者が出たときに、どういった対応をとるのかについて、共通のラインを設けてほしい。

事務局とも相談しながら、決めていきたいと思っておりますが、前提として言えることは、予備日を設定していないということから、「開催」か「中止」のどちらかになるということです。ただ、各学校にコロナ感染による欠席者がいるというパターンについては、多くの可能性が考えられます。

- ある小学校の他学年にいる・・・・・・・・開催
- ある小学校の他学年に複数いる・・・・・・・・開催
- ある小学校の他学年が閉鎖している・・・・開催
- ある小学校の当該学年にいる・・・・・・・・
- ある小学校の当該学年に複数いる・・・・・・・・
- ある小学校の当該学年が閉鎖している・・・・
- ある小学校が臨休となっている・・・・・・・・
- 複数の小学校が臨休となっている・・・・・・・・

- ◆ 公開授業のオンラインによる接続については、趣旨からすると小小連携事業部会の扱うものではなく、教育課程部会が扱う内容である。→教育課程部会で扱うものとする。
- ◆ 学校間の連絡については、部会員同士で直接行う方が、手間もかからず動き出しも早まることから、部会員の中から連絡係を選出していただくこととした。→表に記載済み
- ◆ 部会で話し合われ決定した内容については、学校全体の動きにも関わるため、部会員を通じて各学校におろし、情報共有を図る。
- ◆ 会議の都度、次回の日程・場所・およその内容について確認する。

## 小小連携の内容について(案)

担当 砂川市立中央小学校

## 1 ねらい

- ① 市内小学校5校が連携をし、来年度中学校入学に向けて円滑な接続を目指す。
- ② 他の学校との交流を通して、さまざまな関係を作り、環境の変化による児童の不安を軽減する。

2 日時 10月21日(金)2月17日(金) 13:20~14:50

3 場所 砂川市総合体育館

4 人数(計107名)

砂川小 40名 中央小24名 北光小11名 豊沼小15名 空知太小17名

## 5 内容(計2回) 中央小司会(2名)

時間	1回目	時間	2回目
5	1 はじめの言葉 2 会長から	5	1 はじめのことば 2 会長から
20	3 交流会 ① 学校紹介(※学級紹介3分ほど) 中央小→砂川小→豊沼小→空知太小 →北光小	16	3 交流会 ① 3択クイズ 各校で2問ずつ持ち寄る(計10問)
16	② 3択クイズ 各校で2問ずつ持ち寄る(計10問)	10	② グループ作りゲーム ※前回とはグループを変える グループ作り→自己紹介
10	③ グループ作りゲーム グループ作り→自己紹介 ※10~11名のグループ×10グループ	15	③ ○○といえばゲーム
30	④ 王様ドッジボール	28	④ いろいろリレー ・じゃんけんリレー ・新聞紙リレー ・ボール送りリレー など
8	4 各校感想発表 代表1名ずつ	15	4 各校へ感謝と中学校への期待を伝える (各校) 中央小→砂川小→豊沼小→空知太小 →北光小
1	5 終わりの言葉	1	5 終わりの言葉

## 6 各校で準備すること

## 1 回目

- ・学校紹介（3分ほど）
- ・名札～ガムテープ 赤→中央小 青→空知太小 黄→北光小 白→砂小 茶→豊沼小
- ・3択クイズの問題を考える（2問）
- ・感想発表の代表1名

## 2 回目

- ・名札～ガムテープ
- ・3択クイズの問題を考える（2問）
- ・各校への感謝と中学校への期待について発表（2分ほど）

## 7 ゲーム内容

## ①グループ作りゲーム

- ・各校が到着したときにカードを配布する
- ・同じ絵が書かれた人同士で集まる。

## ②3択クイズ

- ・各校で2問を持ち寄り、各学校の教員が問題を発表する。（計10問）
- ・ABCの書かれた札のところに集まる。
- ・各学校の担任が答えを発表する。

## ③王様ドッジボール

- ・2コート作成
- ・時間は5分→2分→5分・・・のプログラムタイマーをかける。

試合時間は5分、挨拶・入れ替わり・王様決めは2分

- ・試合表を作り自分たちで試合を行っていく。早めに終わった場合はもう一度行っても良い。
- ・王様になった人は、王様メダルをポケットに入れる。
- ・王様を先にあてるか、全員当てた人の勝ち。

## ④〇〇といえばゲーム

（例）司会が秋といえば、何を想起するかをチーム一人ひとりが考える。同じ答え多かったものは点数となる。栗が3人 とんぼ2人 海1人なら 同じ答えが多かったのが栗の3人なので3点となる。

全員バラバラなら1点

5問行い、合計点数を競う。

## ⑤いろいろリレー

じゃんけんリレー →各チーム1列で並び、離れたところに先生が立つ。じゃんけんに勝ったら先生の後ろに並んで座る。負けたら、もとの列の後ろにつく。全員じゃんけんに勝ったチームの勝ち。

新聞紙リレー →各チーム2列で並び新聞の上に柔らかボールをのせ、2人で運ぶ。6往復したら全員座る。

ボール送りリレー →ボールを送ったら後ろに並ぶをくり返し、ある一定の場所までついたらゴール。

## 学校紹介（例）

私たちは中央小学校6年生です。

私たちはいつも明るく楽しく毎日を過ごしています。

担任の先生は〇〇先生で給食を食べるのが速くてびっくりします。

得意なことは縄跳びです。是非見てください。

※実際に跳んでみる。

皆さんと仲良く楽しく過ごしたいと思っていますのでよろしくお願いします。

## 令和4年度第1回小中一貫教育推進委員会 小中連携事業部会

令和4年8月29日(月)15:30~

砂川中学校 会議室

## 1 本部会の目的

\* 令和8年に義務教育学校の開校が決まり、今後、義務教育9年間を見通した小中一貫教育推進のための取組が必要となる。

本部会は、小学校と中学校のスムーズな接続に向けた具体的な取組について、企画・運営を行い、小・中学校のつながりのある教育活動を推進する。

## 2 部会の構成

部長 ~ 友利 真一 (空知太小学校教頭)

森下 浩司 (砂川中学校教頭)

部会員 ~

砂川小学校・・・鈴木真由美 教諭

豊沼小学校・・・清水 裕一 教諭

中央小学校・・・白木ゆかり 教諭

空知太小学校・・・丹那 里織 教諭

北光小学校・・・坂田 一幸 教諭

石山中学校・・・土山 浩司 教諭

砂川中学校・・・鍋城 佳孝 主幹教諭

## 3 今年度の具体的な取組内容

## (1) 家庭学習強化週間

小学校段階から家庭学習に取り組む習慣を身に付けるとともに、小学校での学習内容の理解・定着を高め、中学校入学後の学習にスムーズにつなげることをねらいとする。

時期 ~ 校区内中学校の定期テスト前1週間

前期期末 砂中9月8日(木)・石中9月21日(水)

後期中間 11月17日(木)

後期期末 2月16日(木)

内容

中学校での取組

・テスト2週間前にテスト範囲を伝え、生徒はそれを基に家庭学習の計画を「計画表」に記入する。また、計画通りに学習できたかななどを記入し、担任へ提出している。

・めやすの時間 ~ 1年:70分、2年~80分、3年~90分

小学校での取組

・開始時期 ~ 前期期末テストから

・対象学年 ~ 全学年

・期間 ~ 1週間?

・めやすの時間 ~ 1年:20分、2年:30分、3年:40分

4年:50分、5年:60分、6年:70分

・方法 ~ 目標時間・学習した時間・学習内容・振り返り(児童による)・保護者からのコメントを記入できるシートを使用し、記録していく。

## その他

- ・事前～学校長名（学校運営協議会長名も）で取組について文書を配布
- ・事後～保護者へアンケート実施  
アンケートの結果を学校だよりや統合準備だよりで周知

## (2) 中学校教員の乗り入れ授業

中学校教員の専門的な指導を早期に受けることにより、児童が中学校の授業に慣れることや小学校教員が指導方法を学ぶとともに、次年度以降中学校に入学する児童の様子について中学校側が把握する。

## 対象の学年と時期、回数

- ・今年度は小学校6年生を対象とし、12月～2月に1回以上は実施
- ・次年度以降は小学校5・6年生を対象とし、8月～2月に複数回実施。

## 場所

- ・各小学校

## 乗り入れる中学校教員

- ・各小学校からの要望に合致する中学校の教員を部会長で協議し、選定する。

## 事前の準備

- ・実施時期・教科等の要望～1ヶ月前をメド  
小学校の部会員が6年生担任と相談し、希望する教科・内容を、別紙「乗り入れ授業要望シート」に記入し、友利部会長（空小教頭）へ送付。  
部会員は進捗状況を教頭へ随時報告
- ・授業者の決定～3週間前をメド  
部会長が小学校の要望を参考に授業者を確定し、授業者へ連絡
- ・授業内容の打合せ～2・3週間前をメド  
授業のねらいや評価の観点をはじめとした授業の流れは小学校で準備をし、授業内容や児童の留意事項等を授業者と打合せ
- ・授業用資料の確認～前日までに  
授業で使うワークシートや資料等の確認を小学校担任と中学校教科担任で確認

## 事後

- ・児童にアンケートをとる。（クロームブック可）  
項目は「今日の授業でわかったこと、もう少し勉強したいと思ったこと」「中学校の勉強に期待すること、心配なこと」  
アンケートの結果を学校だよりや統合準備だよりで周知

小中一貫教育推進委員会「小中連携事業部会」

# 乗り入れ授業要望シート

\* 1回につき1枚を記入して、提出してください。

1 学校名

--

2 実施学年・担任名

□	年	担任名	
---	---	-----	--

3 希望日時 \*

(記入例) 月(上旬・中旬・下旬) 月の 日の週 等

--

4 要望する教科や内容等 第1～第3希望まで記入する。

(記入例)・タブレット端末を効果的に活用する授業

・振り返りをわかりやすく実践してもらえる授業

・内容は一任で、科(教科名)の授業

・中学校として小学生に学ばせたい授業(内容も教科の一任)等

第1希望	
------	--

第2希望	
------	--

第3希望	
------	--

5 その他 乗り入れ授業を行うにあたり、小学校側から中学校側へ伝えたいこと等

<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
---

6 本用紙をメールかFAXにて、空知太小学校教頭(友利)まで送信願います。

メール:sora-e@schoolsunagawa.jp

FAX:53-3321